



*Asia-Pacific*  
水道技術情報ステーション  
*Drinking Water Technology*  
*Information Station*

財団法人 水道技術研究センター  
調査事業部 小宮山 徹

- 背景・課題認識
- チームの紹介
- 活動概要
- 活動紹介
  - ・ NEDOプロジェクト
  - ・ JICAプロジェクト
  - ・ PI分析
  - ・ 国際会議
  - ・ 情報ステーションWebサイト構築

# 【背景】 課題認識

## 日本の 水道

### 【優れた技術】

日本の水道は質・規模ともに世界でも最も高い水準を実現

- ・普及率 97%以上
- ・高い技術力(高度浄水、膜処理、低い漏水率、環境にやさしい水道)
- ・蛇口から直接水を飲む“日本の水道文化”を醸成

### 【課題】

- ・高度経済成長以降、急速に拡張整備した水道施設の老朽化
- ・経験のある技術者の不足(一斉退職)
- ・人口減少に伴う料金収入の減少 …
- ・事業が進展しない → 水道関連産業界にも影響

## 政府の 動向

＜新成長戦略(基本方針) 12月30日 閣議決定＞

「官民あげての…水、エネルギーなどのインフラ整備支援や環境共生型都市の開発」

→ 日本の技術、経験をアジアの成長エンジンとして活用  
アジアの成長を日本の成長に結実させる

# チーム紹介

## *Asia-Pacific*

# 水道技術情報ステーション

### 目的

日本の水道の持つ優れた経験・技術力によって海外、特に地理的・文化的に密接な関係にあるアジア地域の衛生的な水確保・水道環境の改善に貢献

→ 国内外相互の持続可能な水道サービスの実現を

### 行動主体

財団法人 水道技術研究センター

日本水フォーラム

水道事業者、学識者、民間企業等、産・学・官の連携により活動

【代表者】

財団法人水道技術研究センター 理事長 藤原 正弘

# 活動概要



1 海外展開の機会創出  
海外の水道事情の実態や将来のニーズ等の情報収集

2 国際貢献の支援  
日本の優れた技術情報・経験を海外へ発信

3 先端情報の提供  
海外との情報交流・人的交流の場の創出・提供

インターネットや国際会議の開催等を通じて、各地の水道関係者との相互の情報ネットワークや人的ネットワークを構築  
「①水関連産業の海外展開の機会創出」、「②水道分野の国際貢献の支援」、「③ 先端情報の提供」を展開

# 活動概要

- 日本企業の技術・サービス情報、海外プロジェクトトピックス情報の発信
- 産・学・官による水道分野の先進的な研究活動等の情報を発信
- 海外調査事業の展開（NEDO・JICA事業等）
- PI による国内外の水道事業の比較分析
- 水事業体ネットワーク（WOPs）の普及協力
- 国際会議の開催（国際シンポジウム・日中水道技術交流会）
- 次世代を担う水専門家育成のための魅力発信

# 活動紹介

## 日本の水道技術をアジアへ

### • NEDO研究開発プロジェクト

### プロジェクトの概要

名称	東南アジア地域での高濁度河川水利用型浄水供給システムによる水循環事業
受託者	メタウォーター株式会社、財団法人 水道技術研究センター
対象地域	東南アジア地域(ベトナム・タイ)
期間	H21年11月～H22年3月(フェーズ1) 状況に応じて次フェーズへ移行
目的	日本が強みを持つ膜技術を活用して、省水型・環境調和型の水循環システムを構築し、国内外での普及支援を推進することで、水資源管理における省エネ、産業競争力の強化に資する

- 事業体や学識者で構成する研究委員会を設立し検討を開始
- セラミック膜ろ過による飲料水供給事業の可能性を調査
- アジア地域でのインフラ整備、環境共生型都市の開発支援に官民を挙げて取り組む一つの実践

# 活動紹介

## 世界の水問題解決に向けて

### • JICA海外調査プロジェクト

#### プロジェクトの概要

名称	上水道事業体のキャパシティ・アセスメントとベンチマーキング
受託者	株式会社日水コン、財団法人 水道技術研究センター
対象地域	フィリピン・カンボジア・ケニアにて現地調査
期間	H21年12月～H22年7月
目的	開発途上国の水道事業体の人材能力、組織能力等の評価方法等を調査することで、援助効果の明確化、援助に役立つ実務マニュアルを開発

- より効果的な援助を推進するためのツールを構築することで、今後の世界の水問題解決に貢献
- 日本の技術の海外展開にも、対象案件を考察するうえで有効

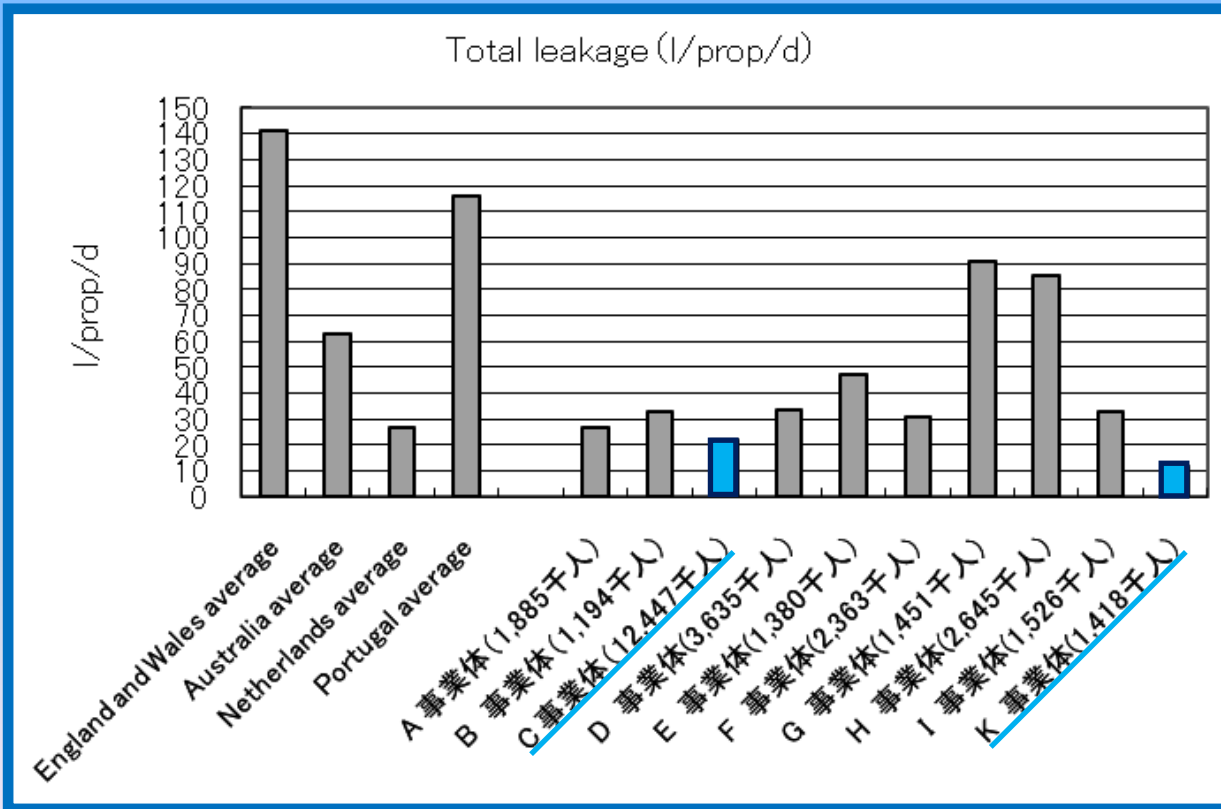


# 活動紹介

## Performance Indicator (PI) による水道事業分析

### 【分析の一例】

試算：給水件数当たり漏水量の海外との比較 (ℓ/件・日)



- 代表的なPIを用いて、国内外の水道事業を比較分析

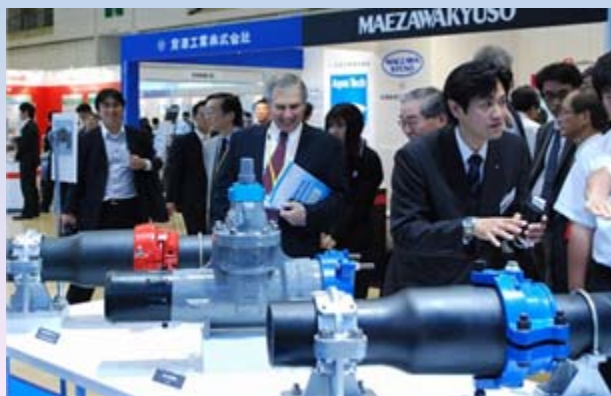
- 日本の強みや弱み、海外の水道事業の現状を相互に客観的に認識するためのコミュニケーションツールとして活用

(出典) 日本以外：OFWAT資料 (International comparisons: 2008 report)  
日本：JWWA資料 (2007年度)

# 活動紹介

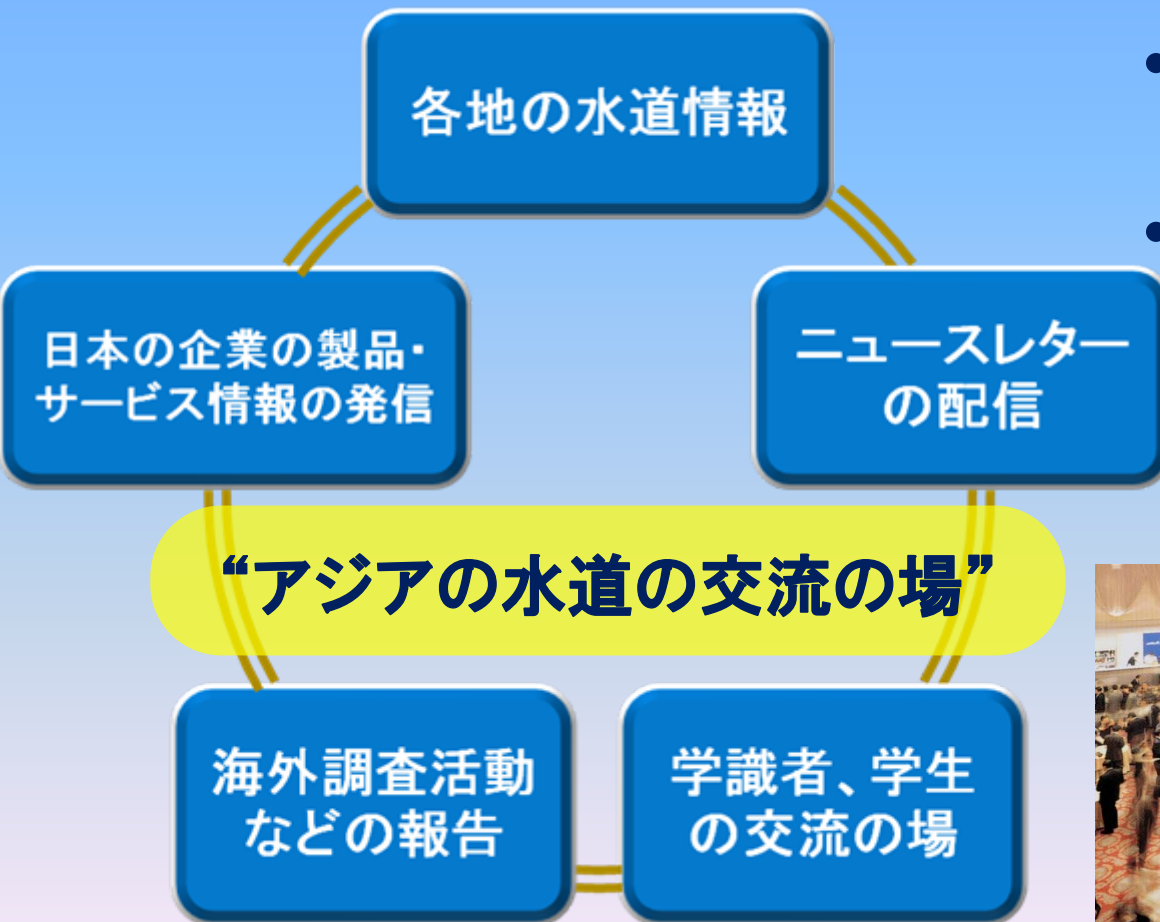
## 水道技術国際シンポジウム

- 1988年から3年に一度開催
- 国内で定期的に行われる水道分野で唯一の国際会議
- 世界の水道の専門家が一同に会する場を提供
- 展示会では最新の日本の水道技術を世界に向けて発信し、ビジネスネットワークを創出



# 活動紹介

## AP情報ステーションWebサイトの構築



- 情報ステーションのホームページを構築中
- 水道技術国際シンポジウムなどにおける情報交流を、インターネット上で展開



ご清聴ありがとうございました。

*Asia-Pacific*  
水道技術情報ステーション  
*Drinking Water Technology*  
*Information Station*

**JWRC**